

優秀賞の3団体



秋季さつき盆栽展
鶴岡さつき盆栽研究会



劇団だいこん座第80回公演「80歳の女子高生」
劇団だいこん座



第21回定期演奏会
スイング・クレインズ・ジャズ・オーケストラ

～コロナ禍での感動享受～

「愛と美の感動を永遠に」これは芸術祭が追い求め続ける大きな目標ですが、収束の気配が見えないコロナ禍の中で開催された、今年の第16回芸術祭でした。

参加された各団体は、色々と規制を受け、自らも細心の注意を払いながらも、至高の芸術を具現しようとする思いは熱く、その真摯な姿は多くの共感をよび、市民の皆様も特別な感動を享受された様に感じております。

賞の選定に当たっては、厳正な中にも和やかに決定させていただきました。平穏な日常が一日も早く訪れ、心置きなく芸事に励む事のできることを渴望しています。



芸術祭賞選考委員長
小林達夫

2年ぶりの芸術祭と記念公演



鶴岡市教育委員会教育長 布川 敦

祭が開催されました。芸術祭を成功に導かれた東山昭子会長はじめ、鶴岡市芸術文化協会の皆様のご尽力に深く感謝を申し上げます。また、12月に行われた「鶴岡市芸術祭 閉幕のつどい」では、世代やジャンルを超えた団体が「芸術文化でつむぐ鶴岡物語（拓く）」をテーマに一つの舞台を創り上げる記念公演が開催されました。荘銀タクト鶴岡に結集した加盟、非加盟あわせて6団体の出演者と観客の皆様が一体となって公演を楽しみ、感動を共有すること

新型コロナウイルス感染症の影響が長く続く中で、令和3年度は万全の感染対策をとられ、2年ぶりに鶴岡市芸術祭ができました。公演を通じて芸術文化は私たちの心を揺さぶり、活力を与え、多くの人をつなぐものと再認識いたしました。

鶴岡市教育委員会では、皆様からの多大なるご協力のもと、今後の文化芸術政策の指針となる「鶴岡市文化芸術推進基本計画」を昨年8月に策定しました。加えて、荘銀タクト鶴岡も鶴岡市芸術文化協会と鶴岡市開発公社の共同企業体での運営が昨春からスタートしています。本市ではこの計画の推進や施設の運営を通じて文化芸術と関連分野との連携や協働を進め、多くの人が文化芸術にふれる機会の創出に努めていくことにしています。皆様には、なお一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

鶴岡市芸術祭賞 選考委員のみなさん

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|--------|-------|--------|--------|-------|
| 小林 達夫 | 後藤 和夫 | 小藤 健功 | 小川 公明 | 堀間 静貴 | 藤田 克夫 | 伊達 克夫 | 佐藤 芳春 | 梅津 芳春 | 佐藤 政一 | 市川 清治 | 五十嵐 悦郎 | 佐藤 宗稜 | 小林 良市 | 日向 常浩 | 佐藤 よし子 | 柿崎 泰裕 | 佐竹 美津子 | 齋藤 健太郎 | 柳原 賢一 |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|--------|-------|--------|--------|-------|



次世代の育成支援 子ども文化クラブ事業

次代を担う子どもたちの育成支援の取組みとして、今年度も市の助成を受けて「子ども文化クラブ事業」を実施しました。加盟団体から協力をいただき講師を派遣、中央公民館や各地区放課後子ども教室と連携しながら、芸術文化活動の体験の機会を提供しています。

コロナ禍が続く中でも、様々な分野の活動体験を通して、子どもたちの豊かな感性を育む一助となることを期待しています。

令和3年度 子ども文化クラブ事業 実施状況

地区	開催数	参加者数	実施分野
中央公民館	9	52	短歌・琵琶・華道
上郷地区放課後子ども教室	10	89	合唱・尺八・文化箏・フラダンス
豊浦(三瀬)放課後子ども教室	7	140	ちぎり絵・華道・茶道・フラダンス
豊浦(由良)放課後子ども教室	10	115	演劇・文化箏・フラダンス
湯野浜小放課後子ども教室	9	90	合唱・茶道・民話・短歌・フラダンス
おおよま放課後子ども教室	5	70	造形・茶道・華道
西郷地区放課後子ども教室	6	138	油絵・ちぎり絵・短歌・茶道・フラダンス
櫛引西小放課後子ども教室	2	14	ちぎり絵
ねずがせき放課後子ども教室	6	83	演劇・華道・茶道
合計	64	791	13分野

●朝陽1小3年 高田 よしゆき (琵琶)

ぼくが、びわの体けんをしてびつくりしたのは、大きさと重さです。初めて見て少し目を見開きました。びわは、とてもむずかしいと思っていました。でも、いちどやったら、どんなことができるようになりました。びわの体けんは、すぐたのしかったです。



●朝陽5小3年 鈴木 めぐみ (華道)

わたしは、花と野さいで生け花をしました。野さいの生け花は、初めて見たし、初めてやりました。生ける時は、バランスがとてもむずかしかったです。終わって生け花は、家のげんかんにかざりました。げんかんが、とてもきれいになりました。



●上郷小4年 山田 碧希 (尺八)

ぼくは、今年で四年目の尺八教室でした。コ罗纳のえいきょうで、回数をはへりましたが、音を出すことができ、感覚をつかみました。そして、少しずつ長く音を出す練習もしました。音をしつかり出せるようになってうれしかったです。来年は、いろいろな音を出して、曲をふけるようにしたいです。



●豊浦小1年 加藤 ゆま (フラダンス)

わたしは、はじめてフラダンスをたいけんしました。ワクワクドキドキしながらやりました。先生もすごくやさしくて、すぐたのしいとおもいました。先生からほめられてうれしかったです。またらいねんも、フラダンスをやりたいです。



●豊浦小4年 梅津 更菜 (演劇)

劇を練習するのは、学校以外では初めてのことでした。最初ははずかしかったけど、とちゅうからは表げんすることが楽しくなってきました。最終日には、一番年上のわたしたちが前に立って練習し、うまくおどられてみんなの手本になれたと思いました。このような特別なけんを、またしてみたいです。



●湯野浜小2年 高嶋 梨央奈 (合唱)

はまっこの合しよう教室にさんかして、かきぎき先生からいろいろな歌い方を教えてもらって、とても楽しかったです。はじめはなかなか声が出ませんでした。だんだんできて、歌うことが楽しくなりました。さい後に、見に来ていたおばあちゃんといっしょにビリーブをうたってとても楽しかったです。いろいろな歌をうたいたいです。



●櫛引西小3年 佐藤 伸策 (ちぎり絵)

ぼくがちぎり絵をやって楽しかったことは、和紙をはるのが楽しかったです。和紙をはるのにくせんしたけど、さいしゅううてきには、うまく和紙を切れたのでよかったです。ぼくは、くし引戸舎で自分の作品を見て、上手く出来たなって心の中で思いました。また、来年もやりたいです。



●鼠ヶ関小4年 阿部 那美 (茶道)

はじめにみんなであつこのそろえ方やおじぎの仕方を習いました。浅いおじぎや深いおじぎがあること、かけじくにもおじぎをすることもわかりました。次に、お茶たてです。自分でお茶をたてる時、茶せんをくるくる回して泡が出るのがおもしろかったです。味は、ちよつと苦かったけどおいしかったです。



●大山小3年 水野 ひまり (茶道)

わたしは、前に茶道をしたことがあるので、知らないことではなかったけれど、良いけんをしました。とくに、おほえているのは、お茶をあわだてたことです。すばやく円のかきまぜるのがむずかしかったです。おじぎの仕方もおそわりました。おかしも食べられて、こなからお茶までつくる良いけんができました。



第16回 鶴岡市芸術祭 閉幕のつどい・記念公演
「芸術文化でつむぐ鶴岡物語 ～拓く～」



荘銀タクト鶴岡で開催した閉幕式典



布川教育長より大賞授与



東山芸文協会長の主催者あいさつ



皆川鶴岡市長の祝辞

第16回 鶴岡市芸術祭
閉幕のつどい・記念公演

今年度の閉幕行事は、12月22日に荘銀タクト鶴岡を会場に、授賞式と延期となっていた記念公演を併せて開催されました。当日は、皆川治市長はじめご来賓各位、また芸文協加盟団体、一般観覧の皆さま等、約370名の方々にご来場いただき初めて市民参加型で開催されました。鶴岡放送児童合唱団による市民歌斉唱の歌声が響き渡る中で幕開けした授賞式では、布川敦教育長より受賞団体へ芸術祭賞が授与されました。また、エントランスホールには加盟団体による作品展示、授賞式に続く公演では、芸術祭大賞の山琴箏会による演奏が披露され、記念公演として「芸術文化でつむぐ鶴岡物語 ～拓く～」をテーマに、6団体による様々な公演が繰り広げられました。



授賞式に華を添えた「鶴岡放送児童合唱団」の市民歌斉唱

エントランスホールでの作品展示



芸術祭記念公演
実行委員長 佐藤 真由美

芸術祭記念公演無事開催

当初は、開幕公演の予定でしたが、コロナウィルスの関係で閉幕記念公演となりました。ご出演してくださった、六団体の皆様、また関係各位に厚く感謝申し上げます。子供達のパワーや洗練されたパフォーマンスなど、皆様と作り上げた鶴岡物語が、観客の皆様的心里に残りましたら幸いです。楽しく、良い経験となりました。ありがとうございました。



草月流山形県支部鶴岡地区



鶴岡和紙ちぎり絵サークル



フォトサロン写楽

芸術祭大賞受賞公演・記念公演

『芸術文化でつむぐ鶴岡物語 ～拓く～』 ひら

ストーリー進行
(劇団だいこん座
渡邊 凜)



(大賞受賞公演) 山形県大正琴・文化箏愛好会



チアダンスクラブ Shooting☆Stars

——— 貴重な経験に感謝 ———

コロナの影響で、演技を披露できる場が減り子供たちのモチベーションも下がっていた中出演のお誘いを頂きました。この日を楽しみに練習に励み、久しぶりの舞台に緊張しながらも精一杯踊った子供たちの目は、キラキラと輝き、大きく成長して見えました。改めて舞台に立てる喜びを感じる貴重な経験となりました。最後になりましたが、開催にあたりご尽力頂いた実行委員および関係者の皆様に心より感謝致します。(代表 横田 憂子)



鶴岡竹友会&こども文化クラブ

——— みかん畑へ ———

子ども文化クラブに小学五年生が参加し、その後約一年間続けて練習に励んできたことで市芸術祭の記念公演舞台の一つとして推奨された。3年生まで過ごした熊本でみかん畑に登った思い出にちなみ「みかんの花咲く丘」をソロで、また教科書の「越天楽」、大曲「ジュピター」への挑戦。いずれも彼のソロパートをいれての演奏は会員共に大きな喜びとなった。(代表 佐藤 晃)



山形庄内よさこい連盟



日本舞踊柏樹流



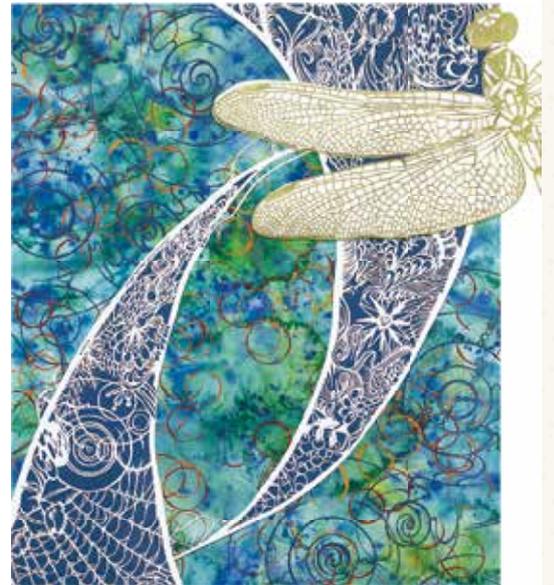
鶴岡剣聖会・鶴城清吟会



ギターシンフォニア

第16回 鶴岡市芸術祭

「芸術文化でつむぐ鶴岡物語 ～拓く～」



特別参加公演

鶴岡剣聖会「剣と扇の舞」

鶴岡剣聖会

● 11月23日
● 中央公民館



剣聖流剣詩舞20演目を発表した。構成舞は「城・戦国武将の愛と哀」である。天下統一の夢を打ち砕かれた信長、「一人こそ城」の武田信玄、七尾城と上杉謙信、白鷺城と秀吉。駒姫の悲劇、独眼竜政宗、鶴ヶ城を心の支えにした白虎隊と会津の女たち。城と命を燃した人たちの生きた証を剣聖流の舞で披露した。(小竹郁弥)

公演団体一覧 (28公演)

- 剣聖流剣詩舞鶴岡剣聖会 *特別参加公演
- 白甕社
- 民謡・舞踊さゞ波会
- 温海芸術文化協会
- 田川民話の会
- 錦心流琵琶全国一水会鶴岡支部
- 如月会
- 第59回鶴岡市合同短歌会実行委員会
- K・I・Y
- 一東書道会鶴岡支部畊雅会
- 鶴岡ウインドオーケストラ
- 朝日俳句の会
- 鶴岡さつき盆栽研究会
- 佳興の会
- 書道研究飛雲会
- 日本九重流鶴城清吟会
- 吉統舞踊学園
- 鶴岡書道会
- 劇団だいこん座
- 表現舎刻一刻
- 鶴岡放送児童合唱団
- 山形県大正琴・文化箏愛好会
- スイング・クレインズ・ジャズ・オーケストラ
- 鶴岡吹奏楽団
- アンサンブル・チコーニア
- 鶴岡土曜会混声合唱団
- バウムクーヘン
- 九重流詩吟学会朝陽清吟会

*芸術祭大賞を授賞後3年間は「特別参加」となります。

創立97周年白甕社美術展

白甕社

● 8月31日～9月12日
● アートフォーラム



2年ぶりの不安を抱え開幕、三密回避のため従前の行事、作業は中止若しくは改善し授賞式のみ決行、努力の結果無事終了しました。今年の白甕社賞一般の部は若い女性の彫刻です。一般の白甕社賞を彫刻が受賞したのは初めての快挙です。今年も高校生の力作が会場に活力を与えて下さいました。来年はコロナの終息した明るい展覧会開催を祈ります。(五十嵐千恵子)

あつみ作品展

温海芸術文化協会

● 9月18日～23日
● 温海ふれあいセンター



温海芸術文化協会会員の作品発表の場として親しまれている「あつみ作品展」。今年も常連出展者の活動休止や退会などの影響で作品のジャンルは例年と比べると少なくなりましたが、陶芸、生け花、切り絵、俳句などの作品を展示し、多くの方からご来場いただきました。(本間庸枝)

二年越しの第56回公演 さゞ波会

● 9月12日
● 中央公民館



コロナ禍という特異な世情の中での第56回公演、開催を危ぶまれながら、内容の縮小を余儀なくされた部分は、致し方なしとしながらも、何とか無事やり終えた。会員各々の熱意によるものである。さゞ波会の意義「地域伝承文化の継承」の一端を担って、研究を惜みず、終りのない道を歩んで参ります。(佐藤睦)



第51回錦心流琵琶演奏会

● 9月20日
● 中央公民館

今年は新型コロナウイルス予防のため、演奏会を縮小し、会員七名のみの発表会としました。但し新人1名の初舞台があり、大変よかったです。予想通り入場者も少なかったのですが、来年は酒井家入部四百年に当り、それに因んだ曲目を予定しています。

(市川清治)



第19回田川民話の会語り市 んだば、語てみっがの!! 藤島宿

● 9月18日
● 東田川文化記念館

開催日当日まで、参加者全員14日間健康状況を記入の上元気で会場入りしました。予想以上のお客様に、ここにこと御来場していただき、パンフレットも足りませんでした。コロナ禍それも庄内地方が緊迫の折の語り宿でしたが、会員も腕の見せ所、昔話しの晴れ舞台を、御来場の皆様にも、更に穏やかに微笑みでお帰しできました。

(帯刀春男)



第59回鶴岡市合同短歌会

● 9月24日
● 市立図書館

この度の合同短歌会では短歌に親しまれている方、11結社より53首の歌が披露され、三氏よりそれぞれに歌評をいただき、会は進行が早く、さすが庄内は洗練された芸術文化が根付いていることを痛感いたしました。これからも短歌を通して文化に触れ、視野を拡げていきたいと思っております。

(佐々木秀子)



如月会水墨画展

● 9月23日～26日
● 中央公民館

出品数は49点(昨年比マイナス1)、屏風・軸2、30～50号6点、10号17点、4～8号23点、色紙1点。ジャンルは、山水・風景37点と多く、花・静物9点、人物・家が3点でした。全国展入賞、入選作から新会員の作品まで幅広く充実した内容の展覧会となった。

(梅本幸仙)



畊雅会かな書作展(39周年) 雅(みやび)な世界を演出して!

● 10月1日～3日
● アートフォーラム

仮名の展覧会は、珍しい!と又ここに来ると、癒されますと、よく言って下さる方々にうれしく思っております。全体的な雅の世界に浸っていただければと、お答えしております。御来場して下さい。方々の自由な気持で、仮名書道に興味を持っていただいで、平安の雅な世界を感じていただくようにと、思っております。

(阿部畊雅)



K×I×Y 三人展 vol.2 | 時の戯れ | K・I・Y

● 9月25日～26日
● アートフォーラム

「K・I・Y」は、鶴岡在住の三名のアーティスト(木村修身・石黒清一・山澤昭彦)が結成したグループです。三名は高校の同級生で、これまでも各人で個展などを開催してきましたが、同じ空間に一緒に作品展示をしたら面白いのではないかと、ということで、昨年からは「三人展」を行うことにしました。今年のテーマは「時の戯れ」、三名がテーマに沿った内容の作品を展示しました。

(山澤昭彦)

聴くヒト・演るヒト

全ての方にエールを

鶴岡ウインドオーケストラ

● 10月10日
● アートフォーラム



サックス・ブラスセクションに打楽器という管楽編成にて、吹奏楽作品から国内外ジャズ・ポップス、ゲーム音楽、コマーションソングとバラエティーに富んだ楽曲を演奏。沢山のお客様からご来場いただき盛況のうちに終了することができ、演奏する者として至上の喜びでした。

(加藤 聡)

展示会に感謝

鶴岡さつき盆栽研究会

● 10月22日～24日
● 中央公民館



会の発足から39年目現在13名で運営し、花を愛し栽培技術の向上と会員相互の親睦を図り継続してきました。春(花季展)秋(盆栽展)を中心に、中央公民館主催への出品もあり会員の励みになっていきます。盆栽はその年の天候や毎日の水掛け、消毒や肥料と一年を通して管理し人が喜んでくれる鉢にできたかは次の年の花に…。

(岡部 誠)

第27回飛雲会展

書道研究 飛雲会

● 10月28日～31日
● アートフォーラム



昨年度は中止となりましたので2年ぶりの開催となりましたが、その分十分構想を練れましたので納得のいく作品が発表出来た様です。コロナ、会員減少、高齢化と様々な苦境の中若い会員も増え、初出品の方も気後れする事なく開催出来ました事、次回のいい糧となりました。

(渡部 飛雲)

朝日俳句・短歌・川柳合同展

朝日俳句の会 ほか

● 10月22日～11月3日
● 朝日中央コミセン



今年も、あさひ産業文化まつりの開催期間に合わせて、朝日俳句・短歌・川柳合同展を開催しました。

俳句部門では、今年度も小学生から多くの出品があり、合同展の出品点数が170点と、大変見ごたえのある展示になりました。

俳句などを通して、これからも学ぶことの楽しさを追い求めていきたいものです。

(小野寺 一郎)

佳興の会 第1回公演

佳興の会

● 10月24日
● 庄内能楽館鶴岡教室



「佳興の会」は昨年からの活動している邦楽のグループで、メンバーは市川石水・梅津芳水・岡眞理子・山澤昭彦の4名です。今年のプログラムは第一部「絲×竹」、第二部「仕舞×シンセサイザー」の二部構成。仕舞とシンセサイザーのコラボレーションは、聴いていただいた皆様にも新鮮だったのではないかと思います。

(岡 政雄)

第45回吟詠大会

日本九重流鶴城清吟会

● 10月31日
● 中央公民館



令和4年酒井家入部四〇〇年の節目を迎えることを祝して、構成吟 酒井家入部四〇〇年記念「出羽庄内 風土の美」を発表。勸学の香りが今に高い出羽庄内の風土の美を味わいながら、映像とともに詠進歌・俳句・新体詩・短歌・わらべ歌・絶句等趣向を凝らし、総力を挙げて取り組んできたものを、コロナ禍の中、感染予防を重視した舞台を演出し、会場を引き付けた芸術性高い公演であった。

(松本 歎洲)



第73回荘内書道展覧会

鶴岡書道会

● 11月5日～7日
● アートフォーラム

一昨年より、応募作品が少なく、約960点の展示となりました。学年ごと、学校ごと、高さなど、見やすい展示を心掛けました。多くの出品数、出品者数を見込みたいので、要項などを配布時期を早めにしたと思います。

(佐藤政二)



理想に向かって進む事こそ最善の道

吉統舞踊学園

● 10月31日
● 荘銀タクト鶴岡

自粛に明け暮れていた日常のモノクロに近い現実があたり前の様に錯覚している事に気づかずに居た状態が、まちがいでいた事を自覚させてくれた舞台だった。色彩豊かな舞台は、忘れかけていた命の輝きを思いおこさせて、生命(いのち)の躍動の美しさを再認識させてくれた。美しいものは美しいと感じられる心の有り方が大切だと思った。

(吉統正義)



夢一座劇場 大衆演劇の魅力を存分に表現舎 刻一刻

表現舎 刻一刻

● 11月7日
● 荘銀タクト鶴岡

コロナ禍で活動が制限される中、声を発しない舞踊構成で上演を企画しました。特に、歌謡劇場として、最上川3部作を中心に、東北の民舞を取り入れ、観客に親しみやすい演目を意図しました。大衆演劇、舞踊は、かつら、衣装等、華麗さが求められ、経費も高みますが、感動しましたと沢山の声があり安堵しております。

(佐藤正一)



劇団だいこん座第80回公演 「80歳の女子高生」

劇団だいこん座

● 11月6日
● 中央公民館

昨年度に続き見送りがと思われた今年の公演でしたが、芸術祭開催の知らせに浮足立ち気味ながら、それでも迷う事なく準備を進める事ができました。公演当日は穏やかな日和に恵まれて、予想を上回るお客様にご来場いただきました。観客の皆さんの笑顔が懐かし、あらためて励みとなり、肥やしになりました。感謝申し上げます。(さとうひでき)



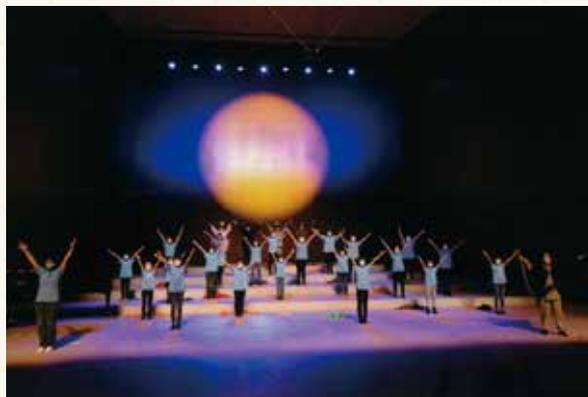
山琴学会第33回記念公演 「燦燦」～「人生に輝きを」

山形県大正琴・文化箏愛好会

● 11月14日
● 中央公民館

生涯学習の一環として「人と人の和を大切に」を基本理念にかかげ、誕生してからむかえた第33回記念公演。テーマを「燦燦」とし、お客様に喜んでいただく事を願い、幅広く曲目を選曲し、一人一人の思いや輝ける舞台をめざし各ステージ毎に作りあげました。皆の力が結集した公演鶴岡市芸術祭「大賞」に輝きました。応援いただきました皆様に、感謝申し上げます。ありがとうございました。

(梅津芳春)



子供たちが表現する合唱の世界

鶴岡放送児童合唱団

● 11月13日
● 荘銀タクト鶴岡

小学校1年生から中学校3年生までの学年の違いに十分に配慮された子供たちの成長が感じられる魅力的なステージとなった。特にⅡステージの新しい日本の合唱は斬新であり、子供たちが詩の内面を良く表現し圧巻だった。合唱劇は、ソロや合唱とのかけ合い、照明が融合し、あまんきみこの世界を幻想的に表現し観客を魅了した。

(伴和香子)



第36回定期演奏会

鶴岡吹奏楽団

今回は荘銀タクト鶴岡で2年ぶり、2回目の演奏会となった。第1部では、J・V・ローストやA・リードなど吹奏楽界で著名作曲家の曲を取り上げ、第2部では、鶴岡出身の真島俊夫先生が作編曲された曲目を披露した。演奏時間は約1時間程度、整理券などの工夫を行い短時間での演奏会となったが、集客も多く、次年度に向けての成果となった。

(大場輝和)



第21回定期演奏会

スイング・クレイノス・ジャズ・オーケストラ

● 11月14日
● 荘銀タクト鶴岡

コロナ禍で暮らしも制限され、舞台芸術もことごとく中止されてきた中、本番当日まで開催されるかが何より不安でした。幸運にも開催が実現し、対策を講じつつ満席のお客様と共に演奏を楽しめた事は夢のようです。ゲストの伊東ゆかりさんも勿論、遠くから駆けつけてくれた演奏者達も我々も観客も、皆が弾けました!!

(橋本祥造)



第70回定期演奏会

鶴岡土曜会混声合唱団

音楽絵巻その一 祈りの残照・大航海時代の西洋と日本

アンサンブル・チコーニア

● 11月21日
● 東田川文化記念館



70回という節目の演奏会に際し、団の長い歴史をステージ構成に織り込みつつ、土曜会のいまの歌声をお届けいたしました。コロナ禍で窮屈な中ででしたが、ひと時の癒しをみなさまに感じていただければ幸いです。来年も市民のみなさまに愛される土曜会を目指し、良い演奏に向けて活動していきます。

(阿部淳二)

曲が作られた歴史的背景などを語りて入れる音楽絵巻という形式の三部構成のプログラム。14世紀から16世紀にかけてのスペインと日本の宗教曲と流行歌12曲を、歌と器楽(リコーダー、ファゴット、トロンボーンなど)による古楽風のアンサンブルで演奏しました。

(山澤昭彦)

● 11月27日
● 荘銀タクト鶴岡



詩歌で巡る鶴岡公園探索 —偉人・賢人の足跡に想いを寄せて—

日本九重流朝陽清吟会

第19回 オータムコンサート2021

バウムクーヘン

● 11月28日
● 荘銀タクト鶴岡



本年は発会45周年・第144回の記念大会、式典に続き、「詩歌で巡る鶴岡公園探索」の構成吟で公園の案内図を渡し、映像も流し、会員とご招待者合わせて39の吟題の発表がありました。又先人を賛えて犬塚閑鷗作の漢詩「荘内風懐」を発表者全員で吟じ、最後に鶴岡市の益々の発展を祈念して「新鶴岡市民歌」を会場の全員で斉唱しました。

(百瀬皓洲)

2年ぶりとなった今年の公演には、庄内地区在住の幼児から高校生までの94名が出演し、音楽を奏でる喜びが素敵な音色となり、一人一人が輝いたコンサートとなりました。出演者にとつて励みや飛躍の場となるように、未来ある演奏家たちを温かく見守り、支えていきたいと思えます。

(中澤牧子)

● 11月28日
● 東京第一ホテル鶴岡



作品展示・文化講演会・芸能発表会・音楽祭
●10月16日～12月2日 ●藤島地区地域活動センター ほか

ふじしま文化フェスティバルが10月16日から約2か月にわたって開催されました。10月30日には、加茂水族館館長の奥泉和也氏の講演会が、11月19日から21日までは藤島芸術文化祭が開催され、絵画など183点の展示や、民話の語り、7団体1個人による芸能発表会など、様々な催しで賑わいました。

11月6日には、ふじしま音楽祭が開催され、10団体230名が出演し、幅広い年代によるハーモニーが観客を魅了しました。期間中は5地区の芸術祭、各小中学校及び庄内農業高校の文化祭、東田川文化記念館での秋のオートウィークスも催され、藤島の芸術の秋を盛り上げました。

コロナ禍で、人数制限など様々な制約の中で開催となりましたが、発表できることの喜びを再認識する機会となりました。(ふじしま文化フェスティバル実行委員会)

コロナ禍の中、藤島に芸術の灯火を
ふじしま文化フェスティバル2021



展示部門・発表部門なびいステージ
●10月31日～11月14日 ●櫛引生涯学習センター

第53回くしびき文化祭の展示とステージをコロナ禍の中、無事開催することができました。

展示は秋の草花を活用した生け花が飾られ、つるあみ作品、櫛引内の保育園児の絵や、小中学生の絵画や書道、デザイン作品を展示しました。地域の皆様からはちぎり絵、切り絵、写真、手芸品など素晴らしい作品の展示がありました。特別展示はセンターで「写真講座」を担当してくださった故東海林晴哉先生の作品を展示しました。開催中に多くの方に見ていただきました。

まなびいステージは昨年度、無観客でケーブルテレビ放映での開催でしたが、今年は約200名の観客を迎え開催できました。合唱や楽器演奏、ダンス、特別出演のエクセレント・シュガーズによるピアノとフルート演奏。

皆さん一丸となって観客に熱い気持ちをお届けしていました。(くしびき文化祭実行委員会)

コロナに負けない！ 熱意ある文化祭
第53回 くしびき文化祭



作品展示
●10月22日～11月3日 ●朝日中央コミュニティセンター

今年度のおさひ産業文化まつりも昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開会行事、芸能発表、また屋外でのおまつり広場は中止し、作品展示のみ開催しました。

コロナ禍により様々な講座や多くの方が集まる機会が減ったことなどが影響し、これまでより出品数が少なくなりましたが、書道、絵画、写真、俳句、川柳、生け花、手芸作品など、地域の皆さんの個性豊かな力作843点が出品展示され、大勢の方々が鑑賞されました。また、各種団体等による展示コーナーを設けるなど、会場全体を工夫して賑やかに彩ることができました。

新型コロナウイルス感染症対策などを考慮し展示室を分散して開催しましたが、朝日地域の芸術の秋を大いに盛り上げ、会場を訪れた多くの方の目を楽しませていただきました。(おさひ産業文化まつり実行委員会)

コロナ禍でも魅力全開な作品が集結
令和3年度 おさひ産業文化まつり



作品展示・ステージ発表
●10月23日～11月3日 ●温海ふれあいセンター

温海文化祭は多くの地域住民が楽しみにしている秋のイベントとして、今回で38回目を迎えました。

新型コロナウイルス感染症の感染防止に細心の注意を払いながら、作品展示と11月3日の文化の日のステージ発表を行いました。往来や人との交流が大きく制限される中、作品やパフォーマンスの発表の機会として多くの方々から出品・出演していただきました。地域の学校からは、学校内への立ち入りが制限されるなかで、生徒の作品を地域の方々に見てもらいたいとの想いから、たくさん作品を出品していただきました。

また、ステージ発表当日は、温海庁舎市民フォーラムにおいて温海農林水産まつりが同時開催され、お互いの集客に効果を上げることができました。(温海文化祭実行委員会)

コロナに負けずに文化と元気を発信
第38回 温海文化祭

荘銀タクト指定管理1年までを振り返る

タクトの芸文協スタッフ座談会



タクトスタッフ：(写真左から)
高橋幸介、佐藤もも子、伊藤玲子、軍司愛

2022年4月でタクトは5年目を迎えます。オープンから企画運営にたずさわってきた芸文協のタクトスタッフに、これまでの山あり谷ありの道のりを語ってもらいました。

怒涛の開館記念事業を乗り越えて

軍司 2017年4月からタクトの開館準備にたずさわってきましたが、開館から今日までの道のりはどうでしたか。

もも子 正直なところ、本当に本当に大変でした(苦笑)。N響のこけら落としの準備から始まって、ノウハウを持つてない状態での辛い1、2年でした。でも、社会人として初めての仕事場で5年続けてこれたのは、一緒に頑張ってきた皆さんが支えてくれたお陰だと思っています。

大好評企画！ワンコインコンサート

軍司 開館3年目を迎える頃から、コロナの影響で首都圏から有名アーティストや劇団を招聘できなくなりました。そこで、それをきっかけに地元のアーティストを起用した「ワンコインコンサート」など、自分たちで一から企画する事業も始めましたよね。

幸介 それまでは入場料が高額な公演が多かったけれど、「ワンコイン(500円)」という気軽にチケットが買える公演を開催するようになってから、今までタクトに足を運んだことのない方々にも来てもらえるようになりました！

玲子 お客様にも大好評で、沢山の方に喜んで頂けるのでとてもやり甲斐があります！

市民サポーター「アーティスト部門」始動！

軍司 最近では、いわゆる鑑賞事業だけでなく、市民参加型の事業にもチャレンジしています。そのなかでもタクト独特のものが、市民サポーター「アーティスト部門」の登録制度だと思えます。

玲子 市民サポーター「アーティスト部門」は、地元の方々と一緒にタクトを創り上げていく、地元で活動しているアーティストの応援プロジェクトです。それは新しい文化会館のミッションでもあり、ホールを発展させる為には市民アーティストとの連携が必須だと思っています。「鶴岡を文化で盛り上げたい！」と思っている地元の方々とタクトの両想いを果たせたくて、毎日頭を悩ませて、まるで恋わずらいしているみたいです(笑)。



タクトのエントランスに設置してあるストリートピアノ



タクトライトアップ(バレンタイン)

これまでの「タクト」、これからの「タクト」

軍司 開館からこれまで、今まで話してきたこと以外にも、タクトの定番となったライトアップや館内装飾、ストリートピアノの設置、そして他館との連携事業や小学校へのアウトリーチなど、様々なことにチャレンジしてきました。これからも現状に満足せず、更なる進化を遂げたいですね。

——それでは最後に、皆さんの今後の野望を聞かせてください！
幸介 鶴岡全市民ダンサー化計画！
もも子 鶴岡に新しい風を吹かせ続けていきたいです！

玲子 世界が目にする全館を使った「タクトフェス」！
軍司 なるほど(笑)。いい事業をするには、まずはスタッフ自身が楽しんでほしいですね！

これから5年目の歩みを始める「タクト」。地元の方々に愛される文化会館を目指しながら歩んで参りますので、これからも応援よろしくお願いたします。

編集後記

北京冬季五輪は日本選手の大活躍で私たちに大きな感動を与え終了したが、新型コロナウイルス感染症はいかわらず猛威を振るっている。

当協会の最大イベントである芸術祭は、今年度より新たに企画した開館記念公演が延期開催となったが、各団体の公演は会員の熱意により、ほぼ計画通りおこなわれ、市民の皆様により日々の芸術文化活動の成果を伝えることが出来た。

開館記念公演は、今後の芸術祭の新しいスタイルになるだろう。

いずれにしてもコロナが早く収束し、マスクの必要ない日常が、一日でも早く来ることを願う。
(小林健郎)

特定非営利活動法人

鶴岡市芸術文化協会への加盟のご案内

鶴岡市の芸術文化活動の輪が、更に大きく広がることを望み、芸術・文化活動をされている団体の新規加盟を募集しています。

《加盟によるメリット》

- 主催事業についての周知及び活動発表の場の提供
- 芸術祭参加事業における施設の予約調整及び使用料の減免
- 芸術祭参加公演団体へ助成

◆年会費(正会員) 団体 5,000円

◆入会についてのお問合せは、下記事務局へご連絡ください。

特定非営利活動法人 鶴岡市芸術文化協会事務局
〒997-0346 鶴岡市上山添字文栄100番地 鶴岡市櫛引1庁舎内
Tel 0235-57-2008 Fax 0235-64-0515
E-mail: tsurugeibun@tiara.ocn.ne.jp

<https://tsuruoka-geibun.or.jp>

トップ画面のQRコード

